

舟形町 令和6年度山形県みどり豊かな森林環境づくり推進事業

1. 団体紹介

舟形町は、山形県の北東部で、最上郡の南端のところに位置します。東部は奥羽山脈の麓から、西南は出羽丘陵の麓まで東西に細長い地形をもつ山林に囲まれた町です。本町の総面積は11,904haであり、多くの森林に恵まれており、その面積は8,554haで、総面積の72%を占めています。そのうち民有林面積は3,638haで、そのうち杉を主体とした人工林面積は1,583ha、人工林率44%です。本町の森林は、地域住民の生活に密着した里山から、林業生産活動が積極的に行われるべき人工林帯、さらには、部分的ではあるが広葉樹が林立する天然生の樹林帯までバラエティーに富んだ林分構成になっています。今後も本町の森林の維持管理を継続していくために、当事業を活用して次世代につなげる担い手を育てる活動に力を入れていきます。特に、担い手となる子どもたちの森林体験や森林学習を通じて、森林資源の大切さを学び、自然を守る心を養います。



2. 活動内容

①地域提案事業：町内ベンチの木製化プロジェクト

【実施日】 7月31日
・間伐についての学習会と中学生によるベンチキットの組立

【活動の内容・感想】

舟形中学校の生徒を対象に県産間伐材のベンチキットの組立作業を実施しました。初めにベンチキットの組立作業を行った後、森林組合の職員から間伐による森林への効果についての講話を聞きました。また、ベンチに焼印を施すことでみどり環境税のPRもあわせて行うことができました。本事業を通して、身近にある豊かな森林資源の重要性を理解するとともに、森林への関心などについて醸成することが出来ました。

ベンチキットの組立作業



間伐についての講話の様子

②地域提案事業：子育て支援センター「みらい」木製おもちゃプロジェクト

【実施日】 3月1日
・開発した木製おもちゃを使用した木育イベント

【活動の内容・感想】

保育園入園前の子供と保護者を対象に県産材を使用した木製おもちゃ(冷蔵庫、机)キットの開発を、遊学の森(木もれび館)の協力を得て行い、併せて木育イベントを開催し、木製キーホルダーづくりをしながら木育の効果について学んだあと、完成した木製おもちゃキットを使用して親子で遊んだ。木製おもちゃに触れることで森や木への親しみを感じ、豊かな心を育てる木育の推進につながりました。また、完成した机と冷蔵庫にみどり環境税の焼印を押すことで、みどり環境税のPRもあわせて行うことができました。

ワークショップと木育の話



保護者によるおもちゃへの仕上げ作業

③市町村里山再生アクションプラン事業：薬師の森の自然学習会

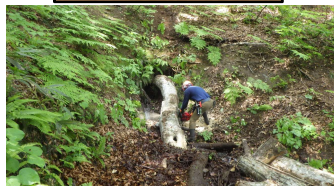
【実施日】 5月13日、10月7日、28日、31日、・薬師の森の遊歩道保全整備
5月25日・舟形中学校自然学習会 10月9日・堀内地区自然学習会

【活動の内容・感想】

町のパンフレットにも掲載されており、林野庁「遊々の森」に認定されている「ふながた薬師の森」について、マザーツリーより三蔵院修験の滝へ続く遊歩道を保全整備しました。

7月4日に、舟形中学校の生徒を対象とした自然学習会、6月30日に堀内地区住民を対象とした自然学習会を行いました。

薬師の森遊歩道整備



舟形中学校自然学習会



自然学習会 マザーツリーの周り



④市町村里山再生アクションプラン事業：長尾町内会と町の協働による念仏の松保全事業

【実施日】 5月23日・松くい虫防除薬剤散布作業
6月4日、7月30日・地域住民による「念仏の松」周辺の草刈り作業

【活動の内容・感想】

町の天然記念物「念仏の松」は、町の観光資源の1つとして町や長尾町内会を中心に維持管理を行っています。長尾町内会による「念仏の松」周辺の草刈り作業等の環境整備により、訪れた方々が気持ちよく鑑賞できるようになっています。

また、薬剤散布による松くい虫防除により、町の財産である「念仏の松」を保全することができました。

薬剤散布による松くい虫防除



地域住民による草刈り作業



⑤市町村里山再生アクションプラン事業：堀内桜の木保全事業

【実施日】 5月6日、7月7日、8月11日、9月21日、11月2日 地元住民による草刈り
11月6日 オオヤマザクラの植栽作業及び学習会

【活動の内容・感想】

洲崎町内にあるオオヤマザクラの木の保全のために、地元住民と町が協力して周辺の草刈り作業等の維持管理を行いました。また、外部講師を招き桜保全や管理方法の学習を通じて、森林資源への関心や保全の意識をしました。

地元住民による草刈り作業



オオヤマザクラの植栽作業



⑥市町村里山再生アクションプラン事業：舟形小学校「森のつみき広場事業」

【実施日】 11月2日
・木目を生かした積木を使用し、樹木や自然、木材について学びました。

【活動の内容・感想】

舟形小学校の生徒を対象に木目を生かした積木を使って遊ぶイベントを行うことで、森林資源への関心及び木材の活用への意識の醸成を図りました。これにより、参加者全員が木材の素晴らしさを感じるとともに、自然環境や天然素材に対する興味や関心を持ち、町内に生えている樹木や自然、木材のことを参加者とともに学びました。



森のつみき広場事業